

第2分科会

生涯現役、高齢期を豊かに生きる

助言者 柴田泰彦
(埼玉労働組合連合会顧問)

司会 廣瀬ミサ子
記録 亀井けい子



参加者から一言

*下流老人とは著しく少ない貯金、収入がない、頼れる人がいない、この三つの無い無いが、1～2年続くこと。医療改悪で自己負担が1割から2割になると自分も人ごとではない。

*マイナンバー、将来貯金通帳の番号を書くことになる。マイナンバーは書かなくてはいけないと思っている人が多い、皆が書けばそれが普通になる。

*現在84歳、20歳の頃から保育園、学童保育作り、高校PTA、企業で働きながら、親の介護等々、頑張ってきた。これからも世の中を良くするため、自分の幸せのため働きたい。介護付き有料老人ホームはたくさんできるが、月22万もかかるのでは入れない。

*夫の残した株だが売れない。

*90歳になり、人生終わりになるのに腹の立つことばかり、悔しい、頑張ろうと思う。

*来年70になるが、年金と仕事の収入で生活している、仕事ができなくなったら将来が心配。

*64歳、10年痛んでいた股関節の手術をし、まだ痛いところはあるけれど、署名など頑張りたい。

*13年前、野火止に越してきたが、近所付き合いしたいがどうしたら？

*新座市議、市民サービス切り捨てと増税について、幼稚園入園補助5,000円が廃止になったが、練馬→40,000円、和光市→30,000円。市民葬祭→廃止、和光市は50,000円。等々。

障害者、高齢者、子育て世代に大きな打撃だ。大江戸線は来ることがない、積み立てた9億円をサービスダウンしたところにつぎ込んでほしい。来年度予算に入れるために11月に決める。

*90歳になり最近まで働いていたが、今は何もできず家の中にいる。

*91歳、歯科の仕事をしているが、皆安心して暮らしたい。

*市のサービスは、どんどん削られ、何もするなといわれているようなもの、動かさず、足腰弱らせて、「死ね」といわれているようだ。

*土建組合、若い人は、子育て、仕事優先で組合活動しない、結局私たちがやるしかない。年齢をあまり意識せず助け合っていかなければ。諦めず、同じことをなんども言っていかなければ。

*どうしたら楽しく生きられるか、50年先のことを考えてコツコツやってきたのに、今こんな状態。

*両親は年金で生活できた、自分はもらえるか心配。

助言者より

人間関係をどう作るか工夫して、小さな集まりでよい関係を作れたらよいのでは。

申し合わせ

署名に取り組んでいきたい



#45046925